

2023年度 事業報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人 放課後遊ぼう会

1 遊び場づくり事業

(1) 宝塚市の7市立小学校において、放課後の遊び場を次のとおり開催しました。

※()内は2022年度の数値

事業名	開催小学校名	開催回数	参加者数(人)					平均参加者数(人)	児童数(人)	児童数当たりの参加者の割合(%)
			幼児	小学生	中高生	その他	合計			
宝塚市放課後子ども教室	仁川㊟	206 (174)	315 (589)	11,015 (9,388)	8 (7)	282 (586)	11,620 (10,570)	56.4 (60.7)	642 (648)	8.8 (9.4)
	末成	103 (89)	204 (252)	3,604 (2,275)	0 (0)	216 (212)	4,024 (2,739)	39.1 (31)	354 (328)	11.0 (9.4)
	光明	60 (53)	94 (78)	3,339 (2,889)	2 (1)	117 (85)	3,552 (3,053)	59 (58)	165 (172)	36 (33)
	良元	57 (48)	47 (42)	3,098 (2,582)	6 (0)	81 (94)	3,232 (2,718)	57 (57)	344 (343)	16 (17)
	逆瀬台	27 (22)	11 (10)	1,284 (946)	1 (0)	4 (5)	1,300 (961)	48 (44)	266 (276)	18 (16)
	安倉	15 (15)	10 (27)	1,485 (1,384)	0 (0)	17 (14)	1,512 (1,425)	101 (95)	458 (489)	22 (19)
	宝塚	14 (24)	19 (37)	2,223 (3,374)	0 (0)	28 (43)	2,270 (3,454)	162 (144)	840 (839)	19 (17)
	小計	482 (425)	700 (1,035)	26,048 (22,838)	17 (8)	745 (1,039)	27,510 (24,920)	57.1 (58.6)	3,069 (3,095)	
兵庫県子どもの冒険ひろば	仁川㊟	25 (26)	10 (25)	469 (333)	0 (0)	28 (37)	507 (395)	20 (15)	642 (648)	3.2 (2.3)
自主事業	仁川㊟	3 (4)	3 (10)	57 (146)	0 (0)	2 (11)	62 (167)	21 (42)	642 (648)	3.2 (6.4)
仁川合計(㊟+㊟+㊟)		234 (204)	328 (624)	11,541 (9,867)	8 (7)	312 (634)	12,189 (11,132)	52.1 (54.6)	642 (648)	8.1 (8.4)
合計		510 (455)	713 (1,070)	26,574 (23,317)	17 (8)	775 (1,087)	28,079 (25,482)	55.1 (56.0)		



- ・毎回、放課後遊ぼう会所属のプレイリーダーを2、3人ずつ配置し、安全管理等を担当しました。
- ・登録ボランティア（校区外のボランティアであるサポーターを含む）は全校区で301人、ボランティアの延べ参加者数は1,113人でした。
- ・コロナによる制限がなくなり室内開催が可能になったことで、開催が中止になることは減り、宿題ができるようになりました。雨や暑さ、学級閉鎖のために、予定していた開催の6.7%が中止となりました（547回開催予定のうち37回中止）。

（2）市内の放課後子ども教室への支援

例年、宝塚市「放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業」として、市内の放課後遊ぼう会型以外の放課後子ども教室にプレイリーダーを派遣し、開催を手伝ったりカプラ大会を開催したりして各校区の実行委員会を支援しています。

新型コロナウイルスの影響により、まだ放課後子ども教室を再開できていない校区や再開できても開催回数の少ない校区があるため、プレイリーダーを派遣して支援をする機会が減っていますが、2023年度は開設校2校、休止校1校、未開設校1校の開催を支援しました。

支援内容	支援校数	延べ支援回数	支援したスタッフの延べ人数	参加者数		
				児童	その他	合計
開設校支援	2	4	33	201	17	218
休止校での開催	1	1	2	49	3	52
未開設校での開催	1	2	6	49	1	50
合計	4	7	41	299	21	320

支援の様子



山手台小学校



長尾小学校

2 子どもの育成に係る人材育成事業

宝塚市「放課後子ども教室」にかかわるボランティアを養成するための「安全管理・応急手当 講習会」を2回、開催しました。（宝塚市「放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業」）

日 時 1回目：6月14日（水）10時～12時
2回目：6月16日（金）10時～12時

場 所 1回目：宝塚市立西公民館 セミナー室
2回目：宝塚市立中央公民館 201・202 学習室

参加者数 1回目：8人
2回目：13人

講座内容（1回目、2回目とも）

- ① 放課後子ども教室の目的と方針
- ② ハザードについて（物的ハザード・人的ハザード）
- ③ その他の危険要因（警報、雷、熱中症、光化学スモッグ、微小粒子状物質、害虫、ノロウイルス対応、

新型コロナウイルス対応、アレルギー、不審者対応、火事・地震対応)

- ④ 開催前の準備（状況確認、配置決め、見回り、遊具の点検、救急箱の準備等について）
- ⑤ ケガ・事故・トラブル時の対応（状況把握・記録、連絡、緊急性の判断、医療機関への搬送、二次災害防止、原因究明・再発防止、情報の共有、事故に備えて、保険申請について）
- ⑥ 応急手当について（擦傷・切傷、刺傷、出血、鼻血、歯折、指切断、突き指・打撲・捻挫、眼のケガ、火傷、骨折等）
- ⑦ 頭部のケガについて
- ⑧ 心肺蘇生法について

西公民館での養成講座の様子



中央公民館での養成講座の様子



3 子どもの育成に係る啓発事業

(1) 遊びの重要性などをお便りで啓発しました

7小学校において、毎月、小学校と幼稚園の保護者向けに発行しているお便りに、その月の開催予定とともに、遊びの重要性や遊び場づくりの意義、自分の身を守るための注意点、大人の役割などを伝えるための啓発文を載せました。発行月と啓発タイトルは以下のとおりです。

お便り発行月	啓発文タイトル
6月・7月	熱中症を予防しよう！
9月	遊びの三問 「やりたいことがない」子どもたち
10月	遊びが育む自己肯定感とやる気
11月	子どもの体力がおかしい？ ～外遊びの価値～
12月	首まわりにご注意！ 遊び場における2つの危険
1月	アンケート結果 または ケガをふせよう！
2月	集団遊びの「ストレス」で成長！

遊びが育む自己肯定感とやる気

達成感 → **自己肯定感** → **やる気**

子どもの頃は、遊びたい遊びで思いきり遊ぶことがとても大事です。やりたいことであれば、横気よく集中して取り組みます。諦めず何度も挑戦してコマを回せるようになった時、ピカピカの泥団子を作り上げた時、砂場でトンネルを掘り上げた時、子どもたちは大きな達成感、満足感、充実感を味わいます。その繰り返しの中で、やり遂げた自分に自信を持ち、自分をもっと好きになり、「ありのままの自分が好き」という自己肯定感が育ちます。自己肯定感を持つ子どもは、困難に突き当たっても、自分の力を信じてやる気を持ってチャレンジしていきます。つまり、「やる気」のもとになるのが自己肯定感です。

でも、自己肯定感を持っている若者の割合を諸外国と比較した結果、日本は最下位でした(右表)。悲しいことに、「自分には無理」とやる前から諦めたり、「自分はダメだ」と自分に否定的な子どもが多いのです。

自己肯定感は、やりたいことを思いきりやるという経験の積み重ねにより身につきます。小さい頃に、やりたい欲求がかなえられないことが続くと、「やりたい」「知りたい」という意欲がだんだんしぼんでいき、指示を待つようになっていくと書かれています。一方、十分に遊んだ子どもは、ある程度大きくなると自分で遊びを卒業し、年齢に応じた課題に「やる気」を発揮していきます。

若者の意識調査結果

調査対象：7か国（日本、韓国、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン）の13歳～29歳の若者

調査項目	日本 (%)	日本以外の6か国 (%)
自分自身に満足している	45.1	73.5～86.9
うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	51.5	71.6～87.4
自分の将来に明るい希望を持っている	60.6	77.7～92.5

内閣府 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（平成30年度）結果より抜粋

遊ぶうちは、自分の責任で自由に遊ぶ遊び場です。ぜひ、お子さんに「遊ぶうちは遊んでおいで」とお声をかけてください。ご参加をお待ちしています！

(2) ホームページを毎月更新し、開催中の様子を紹介しました

(3) 啓発セミナーを開催しました

子どもの遊びの重要性や遊び場づくりの意義を市民に広く知っていただくための啓発セミナーを開催しました。(宝塚市「放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業」)

青少年育成でご活躍の速水 順一郎 氏を講師にお招きして、子どもたちの現状と、体験や群れて遊ぶことの重要性などにつきお話ししていただき、大変好評でした。

日 時 2024年1月31日(水) 10時~12時

場 所 宝塚市立男女共同参画センター・エル 学習交流室 1

講 師 速水 順一郎 氏(兵庫県レクリエーション協会副会長)

タイトル 体験で育つ子どもたち

参加者数 14人

啓発セミナーの様子



4 子どもの育成に係る調査事業

(1) 遊ぼう会開催校における危険箇所を定期的に調査しました

遊具の破損や腐食、つまずきの原因となる箇所、体は抜けるが頭部は抜けない危険な幅の隙間など、ケガや事故の原因となる危険箇所を定期的に調査し、各校に報告しました。

(2) 遊ぼう会開催校においてアンケート調査を実施しました

昨年10月から12月にかけて、7校で放課後遊ぼう会にかんするアンケート調査を実施しました。予定していた3年前はコロナの影響により実施できず、6年振りの実施となりました。

6校で初めてWebで実施したところ、回答率は紙で実施するよりも低かったですが、どの学校でも、大変よい結果が出ました。結果の概要は次のとおりです。

単位：%

		A校	B校	C校	D校	E校	F校	G校
回答率		35	23	65	44	36	35	48
参加頻度	月1回以上合計	51	34	60	46	42	35	24
	年1回以上合計	78	54	83	82	67	51	41
放課後に遊び相手のいない状態で過ごすことがあるか	よくある・たまにある	54	57	55	44	56	57	54
開催回数	① 今より増やした方がよい	10	17	14	27	37	29	25
	② 現在の回数でよい	89	66	78	72	62	68	74
	③ 今より減らした方がよい	1	17	8	2	1	4	2
	①+②	99	83	92	98	99	96	99
これからも遊ぼう会があったほうがよいか	はい	98	88	93	98	99	94	96
	いいえ	2	12	7	2	1	6	4

これからも遊ぼう会があったほうがよい 88～99%

今以上の開催回数がよい 83～99%

遊ぼう会に参加する理由

外遊びができるから（54～67%）、一旦下校せずに直接、学校で遊べるから（32～60%）
家の遠い友達とも遊べるから（23～48%）、宿題ができるから（15～39%）
大人の目があるから（8～32%）

遊ぼう会に参加してよかったこと

違うクラスや学年に友達ができ（31～54%）、外遊びが好きになった（27～38%）
友達が増えた（21～31%）、これまでできなかったことができるようになった（9～22%）
ゲームをすることが少なくなった（7～22%）

放課後に遊び相手のいない状態で過ごす理由

友達と予定が合わないから（36～61%）、ひとり遊びが好きだから（9～21%）

5 事業実施体制

（1）運営委員会開催

回数・時間：毎月1回（8月を除く）、10時～11時30分に合計11回開催

場 所：くらんど人権文化センター（10回）、中央公民館（1回）

参加者：7校区の代表者、チーフプレイリーダー、役員、延べ104人

内 容：新型コロナ対策・安全管理につき共有、情報交換、開催内容・広報紙等につき検討

（2）プレイリーダー会開催

回数・時間：月1、2回、10時～12時30分に合計17回開催

場 所：くらんど人権文化センター（16回）、西公民館（1回）

参加者：プレイリーダー、理事長、延べ165人

内 容：新型コロナ対策、各校の情報交換、ハザードの確認、事前点検、応急手当、三角巾の使い方、
骨折対応、頭部のケガ対応、熱中症対策、ノロウイルス対策、不審者対応

※プレイリーダーは別に、消防署において救急救命講習受講（2年に1回）

（3）すり合わせ開催・出席

開催校：7小学校

参加者：各校担当のプレイリーダー、理事長、実行委員、延べ31人

回 数：各校1回ずつ、合計7回

内 容：学校、育成会、放課後遊ぼう会のそれぞれのルールの確認、ケガ対応、緊急時対応の確認など

（4）実行委員会主催の定例会出席

開催校：仁川小学校、良元小学校

参加者：プレイリーダー、理事長、仁川小PTA放課後遊ぼう部員、良元小PTA放課後遊ぼう会部員、
延べ77人

回 数：13回

内 容：当月の開催中の様子につき情報共有、ボランティアの確保や開催内容についての相談等

6 事例発表

(1) 第3回 神戸の子ども居場所フォーラム

足立理事長が事例発表をしました。

神戸市は小学校での放課後の遊び場づくりを検討されているとのことで、大変興味を持っていただき、好評でした。

日時：2024年3月24日（日）15：00～16：30

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸 3階（KIITO:300）

内容：外遊び事例紹介、神戸市への提言に関する意見交換

2023年度 活動計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人 放課後遊ぼう会

科目・摘要	金額(単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	94,000	
賛助会員受取会費	129,000	223,000
2 受取寄付金		
受取寄付金		4,701,089
3 受取補助金		
子どもの冒険ひろば補助事業		300,000
4 受取委託金		
放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業		3,501,342
5 事業収益		
遊び場づくり事業	0	
居場所づくり事業	0	
子どもの育成に係る人材育成事業	0	
子どもの育成に係る啓発事業	0	
子どもの育成に係る調査事業	0	0
6 その他収益		
受取利息	79	
雑収益	18,944	19,023
経常収益計		8,744,454
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
役員報酬	302,208	
給料手当	7,313,464	
法定福利費	66,101	
福利厚生費	1,828	
通勤手当	216,315	
人件費計	7,899,916	
(2)その他経費		
講師謝金	20,000	
旅費交通費	10,824	
消耗品費	78,889	
印刷費	86,913	
通信費	90,351	
会議費	12,383	
水道光熱費	88,916	
地代家賃	438,720	
保険料	42,110	
租税公課	2,000	
減価償却費	49,467	
広告宣伝費	62,150	
雑費	2,413	
その他経費計	985,136	
事業費計		8,885,052

2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	57,792		
給料手当	718,591		
法定福利費	6,220		
福利厚生費	172		
通勤手当	21,737		
人件費計	804,512		
(2) その他経費			
旅費交通費	400		
消耗品費	6,726		
印刷費	4,434		
通信費	7,222		
会議費	867		
水道光熱費	8,366		
地代家賃	41,280		
保険料	2,620		
減価償却費	4,654		
雑費	227		
その他経費計	76,796		
管理費計		881,308	
経常費用計			9,766,360
当期経常増減額			▲ 1,021,906
Ⅲ 経常外収益			0
Ⅳ 経常外費用			0
当期正味財産増減額			▲ 1,021,906
前期繰越正味財産額			7,347,545
次期繰越正味財産額			6,325,639

2023年度 貸借対照表

2024年3月31日現在

特定非営利活動法人 放課後遊ぼう会

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預貯金	4,300,420		
遊び場づくり事業特定資産	2,400,000		
流動資産合計		6,700,420	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
工具器具備品	1		
固定資産合計		1	
資産合計			6,700,421
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	349,124		
未払金	25,658		
流動負債合計		374,782	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			374,782
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		7,347,545	
当期正味財産増減額		▲ 1,021,906	
正味財産合計			6,325,639
負債および正味財産合計			6,700,421

2023年度 財産目録

2024年3月31日現在

特定非営利活動法人 放課後遊ぼう会

科目・摘要		金額(単位:円)		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金	現金手許有高	60,982		
普通預金	池田泉州銀行仁川支店	1,227,683		
普通預金	関西みらい銀行宝塚支店	1,310,305		
郵便振替貯金		1,701,450		
遊び場づくり事業特定資産	池田泉州銀行仁川支店(定期預金)	2,400,000		
流動資産合計			6,700,420	
2 固定資産				
(1)有形固定資産				
工具器具備品	コピー複合機	1		
固定資産合計			1	
資産合計				6,700,421
II 負債の部				
1 流動負債				
預り金	仁川小実行委員会(開催費返金分)	36,000		
	未成小実行委員会(開催費返金分)	102,000		
	良元小実行委員会(開催費返金分)	18,000		
	逆瀬台小実行委員会(開催費返金分)	36,000		
	宝塚小実行委員会(開催費返金分)	126,000		
	源泉所得税	8,501		
	雇用保険料	22,623		
未払金	委託金返金分(放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業)	25,658		
流動負債合計			374,782	
2 固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				374,782
正味財産				6,325,639

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	遊び場づくり 事業	居場所づくり 事業	子どもの育成 に係る 人材育成事業	子どもの育成 に係る 啓発事業	子どもの育成 に係る 調査事業	事業部門計	管理運営部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費						0	223,000	223,000
2. 受取寄附金	3,871,089		40,000	60,000	80,000	4,051,089	650,000	4,701,089
3. 受取助成金						0		0
4. 受取補助金	300,000					300,000		300,000
5. 受取委託料	3,294,547		98,290	108,505		3,501,342		3,501,342
6. 事業収益						0		0
7. その他収益						0	19,023	19,023
経常収益計	7,465,636	0	138,290	168,505	80,000	7,852,431	892,023	8,744,454
II 経常費用								
(1) 人件費								
役員報酬	292,537		3,324	3,929	2,418	302,208	57,792	360,000
給料手当	7,054,062	0	87,780	107,667	63,955	7,313,464	718,591	8,032,055
法定福利費	63,986		727	859	529	66,101	6,220	72,321
福利厚生費	1,770		20	24	14	1,828	172	2,000
通勤手当	209,799		2,240	2,647	1,629	216,315	21,737	238,052
人件費計	7,622,154	0	94,091	115,126	68,545	7,899,916	804,512	8,704,428
(2) その他経費								
講師謝金				20,000		20,000	0	20,000
旅費交通費	9,260		1,100	417	47	10,824	400	11,224
消耗品費	75,099		2,281	934	575	78,889	6,726	85,615
印刷費	75,350		6,378	4,808	377	86,913	4,434	91,347
通信費	83,875		2,904	2,958	614	90,351	7,222	97,573
会議費	12,235		51	60	37	12,383	867	13,250
水道光熱費	86,071		978	1,156	711	88,916	8,366	97,282
地代家賃	424,681		4,826	5,703	3,510	438,720	41,280	480,000
保険料	41,218		307	362	223	42,110	2,620	44,730
租税公課	2,000					2,000	0	2,000
減価償却費	47,884		544	643	396	49,467	4,654	54,121
広告宣伝費	62,150					62,150	0	62,150
雑費	2,336	0	27	31	19	2,413	227	2,640
その他経費計	922,159	0	19,396	37,072	6,509	985,136	76,796	1,061,932
経常費用計	8,544,313	0	113,487	152,198	75,054	8,885,052	881,308	9,766,360
当期経常増減額	▲ 1,078,677	0	24,803	16,307	4,946	▲ 1,032,621	10,715	▲ 1,021,906

3. 使途等が制約された寄付金等の内訳

使途等が制約された寄付金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。
当法人の正味財産は6,325,639円ですが、そのうち2,400,000円は下記のように使途が指定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は3,925,639円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
遊び場づくり事業 特定資産	2,400,000	0	0	2,400,000	受取寄付金のうち、使途を遊び場づくり事業に指定
合計	2,400,000	0	0	2,400,000	

4. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

内容	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 工具器具備品	518,400	0	0	518,400	518,399	1
合計	518,400	0	0	518,400	518,399	1

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は、以下の通りです。

科目	計算書類に計上された金額	うち役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄付金	4,701,089	1,278,520
地代家賃	480,000	480,000

6. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、通信費・水道光熱費・地代家賃・火災保険料については従事割合に基づき按分しています。